

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-146423

(P2000-146423A)

(43)公開日 平成12年5月26日(2000.5.26)

(51)Int.Cl.⁷

F 25 D 25/00

識別記号

F I

テーマコード(参考)

F 25 D 25/00

E

審査請求 未請求 請求項の数9 O.L (全11頁)

(21)出願番号 特願平10-325057

(22)出願日 平成10年11月16日(1998.11.16)

(71)出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72)発明者 小嶋 俊介

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内

(72)発明者 猪狩 桂子

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内

(72)発明者 足達 威則

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三菱電機株式会社内

(74)代理人 100102439

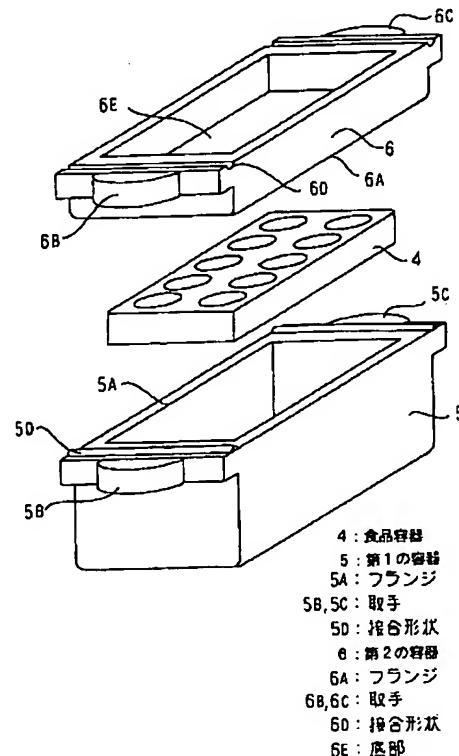
弁理士 宮田 金雄 (外2名)

(54)【発明の名称】 冷蔵庫の食品収納装置

(57)【要約】

【課題】 従来の卵収納装置は卵の収納数の変化及び空間の利用を食品容器4を反転することで卵収納数を変化させ、小物容器3は有効に利用されず、小物容器3を有効に利用し冷蔵庫の空間を有効利用する必要が有り、従来の卵収納装置は卵が冷蔵庫内と隔離されず、卵からの菌の繁殖が問題となり菌の拡散を防ぐため密閉収納する必要性がある問題があった。

【解決手段】 フランジ5A、6Aを有する第1、第2の容器5、6と食品容器4とから構成され、第1の容器5と第2の容器6は2段に重ねて、食品容器4は第1の容器5と第2の容器6の内側に入り収納される。また、第2の容器6は反転させて第1の容器5の蓋として使用できる。第1の容器5と第2の容器6と食品容器4を使用して、組み合わせ方を変化させることにより、第1の容器5と第2の容器6のフランジ5A、6A高さの違いから収納量と収納方法を変化できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、食品に当接して食品を位置決めする係合部を複数設けて位置決めし前記容器の少なくとも一方を密閉可能にする事を特徴とする冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項2】 前記係合部は食品に当接する複数個の孔または切欠きまたは凸形状であることを特徴とする請求項1記載の冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項3】 複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、前記複数の容器を接合形状に応じて重ねることにより複数の容器を位置決めし密閉をする事を特徴とする冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項4】 前記複数の容器の一方を反転することにより複数の容器を位置決めし密閉をする事を特徴とする請求項3記載の冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項5】 前記接合形状は平坦な接合面もしくは切欠形状の接合面を有する事を特徴とする請求項3記載の冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項6】 前記複数の容器及び食品容器の少なくとも1つに消臭剤または抗菌剤または消臭剤と抗菌剤とを添加する事を特徴とする請求項1ないし請求項5記載のうちの少なくとも1項記載の冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項7】 複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、前記複数の容器のいずれかにレール凸部及びレール凹部またはレール段差部またはストッパを設けて複数容器の当接による位置決めをすることで食品の収納または密閉する事を特徴とする冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項8】 複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、冷蔵庫本体における棚レールまたは仕切壁内の空間または鉤形状と複数容器における外形面または鉤形状との当接により容器を位置決めまたは収納する事または密閉する事を特徴とする冷蔵庫の食品収納装置。

【請求項9】 前記食品収納装置は冷蔵庫本体外での食品収納装置での食品の収納または密閉する事を特徴とする請求項1ないし請求項8記載のうちの少なくとも1項記載の冷蔵庫の食品収納装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 この発明は、冷蔵庫に設置する収納装置の構成と形状に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図30は例えば特開平3-217781号公報に示された従来の食品収納装置を示す斜視図であ

る、1は冷蔵庫本体で、2は冷蔵室であり、3は冷蔵室2内部に設けられた引出式の小物容器、4は複数列の卵収納孔列が設けられた4Aの卵載置板部と、この4Aで示す第1の載置板部より少ない列数の卵収納孔列が設けられ該第1の卵載置板部4Aと平行な面内に4Bで示す第2の卵載置板部をもつ一体成形の食品容器であり、食品容器4は小物容器3内に図31、図32のように反転可能に収納される。

【0003】 このような従来の食品収納装置では、図31、図32のように小物容器3内の食品容器4を反転させることで卵を収納する孔の数が変化でき、食品の収納数を食品容器4を反転することで調節できる。また、食品容器4の下側に位置したときの卵載置板部4A及び4Bの上に、卵以外の食品等を収納することができ冷蔵庫内を有効に活用できるようにしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 従来の食品収納装置は以上のように卵の収納数の変化及びスペースの利用を食品容器4の形状により反転することで卵収納数を変化させていて、小物容器3は冷蔵庫本体1のレールに配置され、その用途が制限されているため、小物容器3を有効に利用して冷蔵庫のスペースを有効に利用する必要がある。また、従来の食品収納装置は卵が冷蔵庫内の空間と隔離されておらず、卵からの菌の繁殖が問題となる可能性があり、菌の拡散を防ぐため密閉して収納する必要があるなどの問題があった。

【0005】 この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、小物容器を利用して卵の収納数を変化できるとともに、卵を密閉して収納できる食品収納装置を得ること目的としたものである。さらに卵以外の品をこの装置の利用により効率よく収納すること目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、食品に当接して食品を位置決めする係合部を複数設けて位置決めし前記容器の少なくとも一方を密閉可能にするものである。

【0007】 この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、前記係合部は食品に当接する複数個の孔または切欠きまたは凸形状とするものである。

【0008】 この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、前記複数の容器を接合形状に応じて重ねることにより複数の容器を位置決めし密閉をするものである。

【0009】 この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、前記複数の容器の一方を反転することにより複数の容

器を位置決めし密閉をするものである。

【0010】この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、前記接合形状は平坦な接合面もしくは切欠形状の接合面を有するものである。

【0011】この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、前記複数の容器及び食品容器の少なくとも1つに消臭剤または抗菌剤または消臭剤と抗菌剤とを添加するものである。

【0012】この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、前記複数の容器のいずれかにレール凸部及びレール凹部またはレール段差部またはストップバを設けて複数容器の当接による位置決めをすることで食品の収納または密閉するものである。

【0013】この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、複数の容器と前記容器内に収納並びに分離可能な食品容器とから構成される冷蔵庫の内部に収納する食品収納装置において、冷蔵庫本体における棚レールまたは仕切壁内の空間または鉤形状と複数容器における外形面または鉤形状との当接により容器を位置決めしまたは収納する事または密閉するものである。

【0014】この発明に係る冷蔵庫の食品収納装置は、前記食品収納装置は冷蔵庫本体外での食品収納装置での食品の収納または密閉する事を特徴とするものである。

【0015】

【発明の実施の形態】実施の形態1. 図1はこの発明の実施の形態の一例を示す図で、図1は部品構成の斜視図である。図2は4と5と6の樹脂製の容器の使用形態の一例を示す図である。4は複数個の孔をもつ食品容器である。5は食品を収納する第1の容器、6は上記第1の容器5と同様に食品を収納する第2の容器である。第2の容器6は第1の容器5の上に重ねる構成で2段の容器を構成する。食品容器4は第1の容器5と第2の容器6の内側に入れられ卵を立てて収納または小物類を整然と配列し収納する。

【0016】図2の構成で、図3に示すように全体が断熱性のある仕切壁により仕切られた冷蔵室2と扉をもつ冷蔵庫本体1の冷蔵室2の棚7の囲む空間に収納する。図3は冷蔵庫内に第1の容器5及び第2の容器6を組み合わせて収納した状態を示している。第1の容器5と第2の容器6の各容器に食品を満たし、2段に配置して構成する場合、棚7の間隔の狭い空間に食品の密度が高い収納がなされる。

【0017】図4では、第1の容器5なしで第2の容器6だけで使用する場合を示す。第2の容器6の下端面から卵9の頂点までが占める空間の高さが、冷蔵室の棚7の間隔の3分の1以下の高さであり、第2の容器6及び収納食品全体を引き出すことなく第2の容器6の側面から収納食品に接触し出し入れする構成となる。また第2

の容器6と食品容器4を組み合わせて卵を立てて収納することもできる。

【0018】図5では、第1の容器5と食品容器4を組み合わせて使用した場合を示している。第1の容器5のフランジ5Aが卵を立てて収納したときの卵の高さより高く、他の品との接触を第1の容器5のフランジ5Aで防ぐことができ、卵と周囲の空間との直接に接触する面積は少ない。

【0019】図6では、前記の図2から第2の容器6を上下反転させ、第1の容器5の蓋として使用する構成を示す。蓋として使用することで、卵等冷蔵庫内に収納する食品からの菌の繁殖、匂い移りを防ぐことができる。以後の記述では、第2の容器6を上下反転した場合と反転しない場合共に第1の容器5と第2の容器6を組み合わせる構成で使用可能である。

【0020】図7では、第1の容器5と第2の容器6を組み合わせた構成を示す図である。図において、6Eは第2の容器6の底部で第1の容器5のフランジ5Aと合わせ面にて密着し、内側に保存した食品を密閉する空間を形成する。フランジ5Aの高さは市販の卵9を収納した卵パック12より高く、第1の容器5に卵9を卵パック12に入れたままの状態で収納しても、卵パック12に第2の容器6の底部6Eに接触せず、第1の容器5、第2の容器6を重ねる構成をとる。

【0021】また、図8は第1の容器5並びに第2の容器6とその内部に卵9を収納した食品容器4を収納した構成を示す。卵9を立てた状態でも、第2の容器6を卵9に接触することなく重ねることができる。さらに、図9は第1の容器5並びに第2の容器6の内部に卵9を収納した構成を示す。食品容器4を使用せず、卵9を重ねて収納した状態で、第2の容器6を卵に接触することなく重ねることができる。

【0022】実施の形態2. 上記の実施の形態の第1の容器5、第2の容器6、食品容器4に抗菌剤又は、消臭剤又は、抗菌剤と消臭剤の両方を混入させることで、菌の繁殖を防ぎ、消臭することも可能である。ここに消臭剤とは有機系消臭剤もしくは無機系消臭剤を指し、抗菌剤とは有機系抗菌剤もしくは無機系抗菌剤を指す。

【0023】また、消臭剤や抗菌剤を使用した食品容器4、第1の容器5、第2の容器6を樹脂容器として成形時に、樹脂ペレットと着色用ペレットに消臭剤もしくは抗菌剤、または消臭剤と抗菌剤の双方を混合したものと混ぜ合わせて成形加工する。または、着色ペレットと消臭剤もしくは抗菌剤または消臭剤と抗菌剤の双方を含んだペレットと樹脂ペレットを混合し成形する。さらに、樹脂容器として食品容器4の表面に光沢のある外観とするには消臭剤もしくは抗菌剤または、消臭剤及び抗菌剤を混ぜたペレットに光拡散剤を混合させて樹脂容器を成形加工して仕上げる。

【0024】実施の形態3. 図10に示すのは、上記の

実施の形態において第1の容器5と第2の容器6のフランジ部に切欠き形状5M、6Mを設けた例である。第2の容器6を第1の容器5へ重ね合わせると、切欠き形状5Mと第2の容器6の凸部、切欠き形状6Mと第1の容器5の凹部が嵌まり込むため、切欠き形状5Mと切欠き形状6Mの囲む空間は密閉される。図11には上記図10への実施例として食品を収納した例を示し、ワイン等の瓶を第1の容器5または第2の容器6に形成された切り欠き形状5M、6Mを利用し位置決めして収納できる。

【0025】実施の形態4. 上記の実施の形態において、図1に示す第1の容器5と第2の容器6と食品容器4を前後対称の形状として、前後の区別なく冷蔵庫内等に収納した場合も、食品の出し入れ、保管という使用上の支障発生を防止する。

【0026】実施の形態5. 上記の実施の形態において、第1の容器5又は第2の容器6又は食品容器4に冷蔵庫内等に収納した場合に、食品の出し入れ、食品の保管という使用上、支障が発生する場合は、前後の区別をつけるマークを印刷又は、刻印で設けることで、このマークにより収納品の新旧の区別が可能となる。また、第1の容器5又は第2の容器6又は食品容器4の形状を前後非対称とし、第1の容器5と第2の容器6の前後の区別が解る。

【0027】実施の形態6. 図1では、第1の容器5と第2の容器6に取っ手5B、5C、6B、6Cを設けた上記の実施の形態の例を示しているが、第1の容器5または第2の容器6或いは第1の容器5と第2の容器6の双方の取っ手5B、5C、6B、6Cをつかんでスライドし引き出すことができる。前後に取っ手5Bと5C、6Bと6Cを設けることで、第1の容器5並びに第2の容器6は取っ手5Bと取っ手5Cの組、6Bと6Cとの組という対のどちらであるか区別なく引き出すことができる。図1、図6のように第1の容器5と第2の容器6の接合部に、第1の容器5のフランジ5Aに凸部である接合形状5Dを設け、対面する第2の容器6の開口面に前記接合形状5Dに嵌まり込む凹部である接合形状6Dを設けることにより、第1の容器5を引き出す時に、と第2の容器6とのはめあいにより接する面がずれる事を防ぎ第2の容器6を重ねる時に固定位置が明確になり固定が容易となる。

【0028】また、図2のように第2の容器6の底部6Eが第1の容器5のフランジ5Aの内側に入る寸法として、第2の容器6のフランジ6Aが第1の容器5のフランジ5Aの上に載置した第2の容器6が第1の容器5の内側に入り込むのを防ぎ、第2の容器6を第1の容器5と重ねた時に容器6がずれるのを防ぐことができる。さらに、第1の容器5及び第2の容器6に取っ手5B、5C、6B、6Cが無くても第1の容器5と第2の容器6を上記の実施の形態で使用できる。

【0029】実施の形態7. 図12では、第1の容器5と第2の容器6の接合部にレール5F、6Fを設ける例を示す。図において、第2の容器6の収納品を取出す時、図16のように第2の容器6を第1の容器5のレール5Fに沿って押し出すことで、庫内から容器全体を取出さなくても第1の容器5の収納品を取出すことができる。また第2の容器6をレール6F、5Fに沿って手前に引いて容器6の収納品を取出すことができる。さらに、図14のようにレールの接合方法が第2の容器6のレール部6Fが第1の容器5のレール部5Fの外側でもできる。またさらに、図17のようにレール5F、6Fの前後に滑らかな段差5H1と5H2、6H1と6H2を設けることで、第2の容器6がこの段差により位置決めできる。また、引出開始にも滑らかに引き出すことができる。またさらに、レールの段差を前後対称として前後の区別なく使用できる。また、さらに、図13、図15のように第2の容器6を第1の容器5の蓋として使用した場合でも前述のように使用できる。

【0030】実施の形態8. 図16では、第2の容器6の底部にストッパー6Jを設ける例を示す。第2の容器6を第1の容器5の上でスライドさせた時に、第1の容器5のフランジ部5Aと第2の容器6のストッパー6Jが当り、第2の容器6の動きを停止でき、容第2の容器6が落下するのを防止する。また、図18では、第1の容器5と第2の容器6のレール5F、6Fに2箇所以上凹凸形状5K、6Kを設ける例を示す。収納時の位置決めが容易となり、引出時にストッパーとして働き、任意の位置での固定が可能となる。凹凸形状が逆でも可能である。

【0031】実施の形態9. 図19、図20では、第2の容器6のフランジ外側の側面に鈎状の突起物6Lを設けた例を示す。図において、1Lは冷蔵庫本体の内側背面から手前へ張り出す、または上下に曲がる鈎で容器を引っかける鈎形状、7Lは棚7から上または下へ張り出し、前後に曲がる鈎で第2の容器6を引っかける鈎形状である。第1の容器5と第2の容器6を重ねた状態で設置する時に第2の容器6の鈎状突起物6Lを冷蔵庫本体の内側背面の鈎形状1L、または棚の鈎形状7Lに引っ掛けすることで第1の容器5を引き出すときに第2の容器6は冷蔵庫本体に固定され、第1の容器5だけ引き出すことができるので、片手で第1の容器5と第2の容器6を重ねた状態から第1の容器5に収納された品を取出すことができる。

【0032】5Qは第1の容器5のフランジ5Aの上面の突起、6Qは第2の容器6のフランジ6A面より凹む溝である。食品収納時、第1の容器5を冷蔵庫本体1の内側背面近くに配置されており突起5Qは第2の容器6を押し上げているが、食器取り出し時に、第1の容器5を冷蔵庫本体1の背面より引きだした場合、突起5Qと溝6Qが嵌まり込み、第1の容器5と第2の容器6が引

つかかるので、第1の容器5が単独で引き出されて第2の容器6が落下することを防止する。

【0033】実施の形態10. 図21では、第1の容器5と第2の容器を重ねた状態でも冷蔵室の扉12のポケット13の内側に収納できるような寸法とした例を示す。図において、食品を食品容器4に収納し密閉した、または第1の容器5と第2の容器6の内部に収納並びに密閉して容器ポケット13の内側の左右方向の位置に自由度を有して設置でき、左右どちら開きの扉でも同じ位置に設置することができる。左右どちら開きの扉でも使い勝手が変化しない。

【0034】実施の形態11. 図3では、第1の容器5と第2の容器6を2段に重ねた状態を示す。1Aは冷蔵庫本体の棚7を上面に載置する棚レールであり、棚レール1Aに冷蔵庫本体1の奥行き方向に沿い第1の容器5及び第2の容器6をスライドすることで、第2の容器6が第1の容器5との接触面が離れることなく引き出せる。左右両方の側面で同様に、第2の容器6が第1の容器5との接触面が離れることなく引き出し可能であり、左右どちらの扉開きでも使い勝手が変化しない。また、図22、図23のようにレールは棚上7A、棚下7Bに設けて、冷蔵庫本体の棚7をのせる棚レール1Aでスライドして引き出す事が可能である。

【0035】実施の形態12. 図3では、第1の容器5と第2の容器6を2段重ねた状態を示す。冷蔵庫本体1の棚レール1Aの下部に収納可能な寸法とし、冷蔵庫本体1の内側側面に密着する第1の容器5及び第2の容器6の側面は利用されない空間が僅かで収納できる。冷蔵庫本体1の内側について左右どちらの側面に沿っても同様に収納でき、左右どちらの扉開きでも使い勝手が変化しない。

【0036】実施の形態13. 図24では、第1の容器5又は第2の容器6の一部または、全体に熱伝導性の良い金属14を用いた例を示す。第1の容器5と第2の容器6により密閉し、空間に金属14から熱が伝達され、収納されている品の冷却を良くする。

【0037】実施の形態14. 図25のように第1の容器5のフランジ内側に凸形状5Nを設ける例を示す。図において、卵パック12の端部12Aを押さえることができ、上段の容器をスライドさせた場合、卵を包み込んで卵パック12が閉じた状態のままである。また、卵パック12の端部12Aを凸形状5Nから外すことにより、卵パック12を開くことができる。

【0038】実施の形態15. 図26、図27では冷蔵庫本体の仕切壁に空間1Bを設けた例を示す。第1の容器5と第2の容器6を重ねた状態で収納できるようにすることで冷蔵庫の仕切壁の空間1Bを有効に利用することができる。

【0039】実施の形態16. 図28では、第1の容器5と第2の容器6とのフランジ部5A、6Aが下側にな

るようにして内部に卵および他の品を収納して冷蔵庫本体に置く例を示す。また、図29では、第1の容器5と第2の容器6の接合部に鉤状のレール5P、6Pを設けることでフランジ部5A、6Aを下側にした場合でも第1の容器5と第2の容器6が外れないようできる。

【0040】実施の形態17. 上記の実施の形態において、外気温が低い場合、食品容器4と第1の容器5と第2の容器6を使用して冷蔵庫の外側においても食品の保存ができる。

【0041】実施の形態18. 上記の実施の形態において、第1の容器6を第2の容器5に重ねる使用形態において、臭氣のある食品を密閉した状態で収納することで食品の匂い移りを防ぐことができる。

【0042】

【発明の効果】この発明によれば、食品に当接して食品を位置決めする係合部を複数設けて位置決めし前記容器の少なくとも一方を密閉可能にするため、使用形態を変化して保存する品の収納量に合わせることができ冷蔵庫内の空間に密度高く食品収納ができる効果がある。

【0043】この発明によれば、前記係合部は食品に当接する複数個の孔または切欠きまたは凸形状で位置決めし前記容器の少なくとも一方を密閉可能にする効果がある

【0044】この発明によれば、前記複数の容器を接合形状に応じて重ねることにより複数の容器を位置決めし、食品を密閉保存して菌の繁殖を抑える効果がある。

【0045】この発明によれば、前記複数の容器の一方を反転することにより複数の容器を位置決めし食品を密閉保存し、菌の繁殖を抑える密閉をする効果がある。

【0046】この発明によれば、前記接合形状は平坦な接合面もしくは切欠形状の接合面を有し、複数の容器を位置決めし食品を密閉して保存し菌の繁殖を抑える効果が得られる。

【0047】この発明によれば、前記複数の容器及び食品容器の少なくとも1つに消臭剤または抗菌剤または消臭剤と抗菌剤とを添加し、食品の匂い移り、菌の繁殖を抑える効果が得られる。

【0048】この発明によれば、前記の容器のいずれかにレール凸部及びレール凹部またはのレール段差部またはストップを設けて複数容器の当接による位置決めをすることで、容器を重ねたままで下段の容器に収納された品を上段の容器をレールに沿ってスライドさせることで取出すことができる効果がある。

【0049】この発明によれば、冷蔵庫本体における棚レールまたは仕切壁内の空間または鉤形状と複数容器における外形面または鉤形状との当接により容器を位置決めまたは収納する事または密閉することで、容器をレールにより冷蔵庫本体に固定でき、レールに沿って引き出して使用することができる効果がある。

【0050】この発明によれば、外気温度が低い場合、

前記第1の容器と第2の容器と食品容器を冷蔵庫の外側においても食品の保存ができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態1、4、6による食品収納装置の部品構成を示す斜視図である。

【図2】この発明の実施の形態1、6による食品収納装置の構成を示す斜視図である。

【図3】この発明の実施の形態1、11、12による食品収納装置を冷蔵室の棚への配置示す正面図である。

【図4】この発明の実施の形態1による食品収納装置を冷蔵室の棚への配置示す側断面図である。

【図5】この発明の実施の形態1による食品収納装置を示す側断面図である。

【図6】この発明の実施の形態1、6による食品収納装置の構成を示す斜視図である。

【図7】この発明の実施の形態1による食品収納装置を示す側断面図である。

【図8】この発明の実施の形態1による食品収納装置を示す側断面図である。

【図9】この発明の実施の形態1による食品収納装置を示す側断面図である。

【図10】この発明の実施の形態3による食品収納装置を示す斜視図である。

【図11】この発明の実施の形態3による食品収納装置を示す斜視図である。

【図12】この発明の実施の形態7による食品収納装置を示す断面図である。

【図13】この発明の実施の形態7による食品収納装置を示す断面図である。

【図14】この発明の実施の形態7による食品収納装置を示す断面図である。

【図15】この発明の実施の形態7による食品収納装置を示す断面図である。

【図16】この発明の実施の形態7、8による食品収納装置を示す側断面図である。

【図17】この発明の実施の形態7による食品収納装置を示す側断面図である。

【図18】この発明の実施の形態8による食品収納装置を示す側断面図である。

【図19】この発明の実施の形態9による食品収納装置を示す側断面図である。

【図20】この発明の実施の形態9による食品収納装置を示す側断面図である。

【図21】この発明の実施の形態10による食品収納装置の冷蔵庫の扉への配置を示す斜視図である。

【図22】この発明の実施の形態11による食品収納装置の冷蔵庫本体の棚下部のレールへの配置を示す斜視図である。

【図23】この発明の実施の形態11による食品収納装置の冷蔵庫本体の棚上部のレールへの配置を示す斜視図である。

【図24】この発明の実施の形態13による食品収納装置の卵収納装置を示す斜視図である。

【図25】この発明の実施の形態14による食品収納装置の断面図である。

【図26】この発明の実施の形態15による食品収納装置への配置を示す斜視図である。

【図27】この発明の実施の形態15による食品収納装置の冷蔵庫本体への配置を示す断面図である。

【図28】この発明の実施の形態16による食品収納装置の冷蔵庫本体への配置を示す正面図である。(5と6の容器は断面図)

【図29】この発明の実施の形態16による食品収納装置を示す断面図である。

【図30】従来の発明による食品収納装置を示す斜視図である。

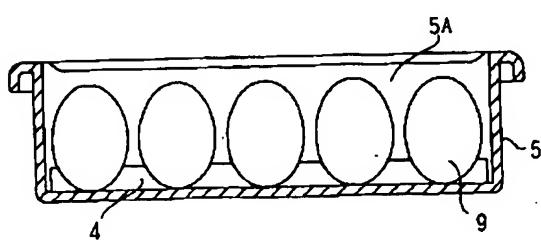
【図31】従来の発明による食品収納装置を示す断面図である。

【図32】従来の発明による図31の食品収納装置の食品容器を反転した状態を示す断面図である。

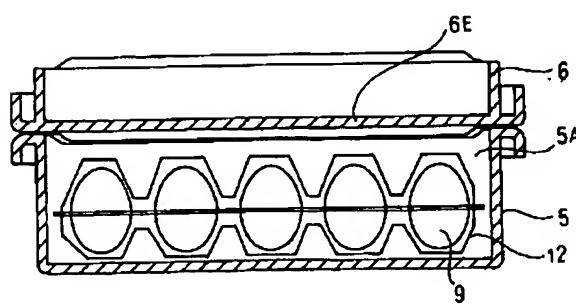
【符号の説明】

4 食品容器、5 第1の容器、5A フランジ、6 第2の容器、6A フランジ。

【図5】

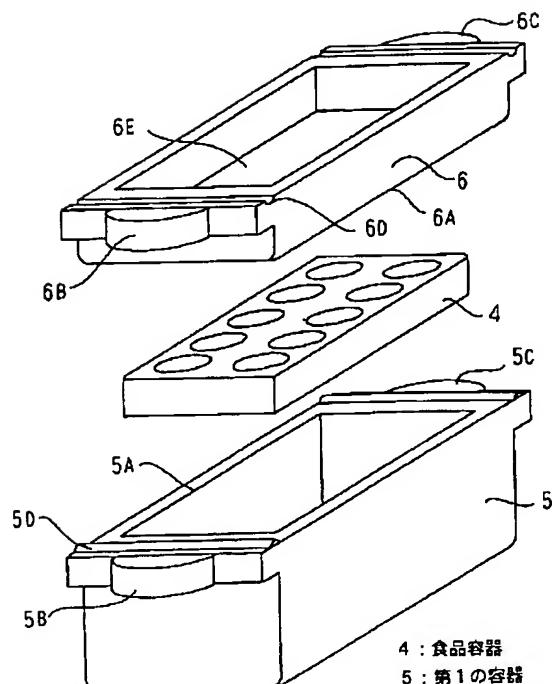


【図7】

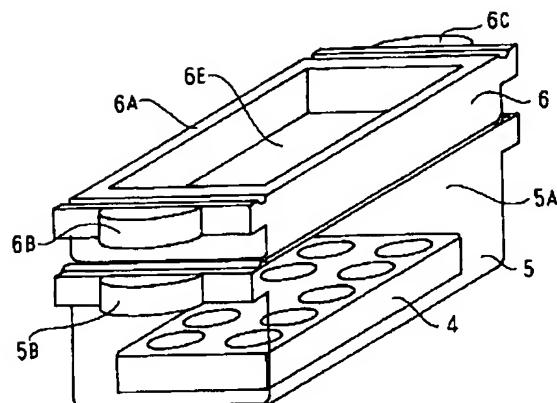


12 : 卵パック

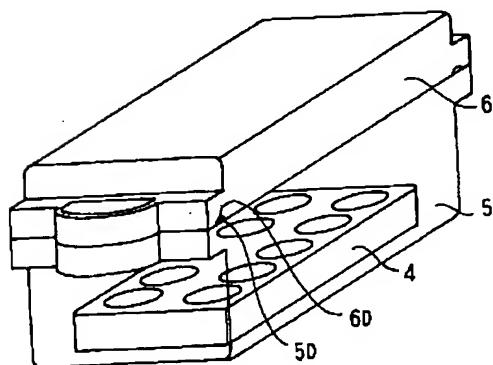
【図1】



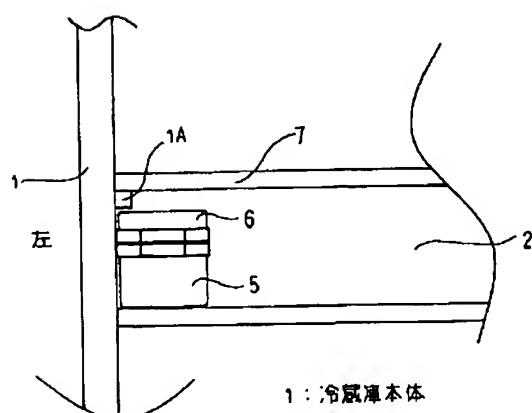
【図2】



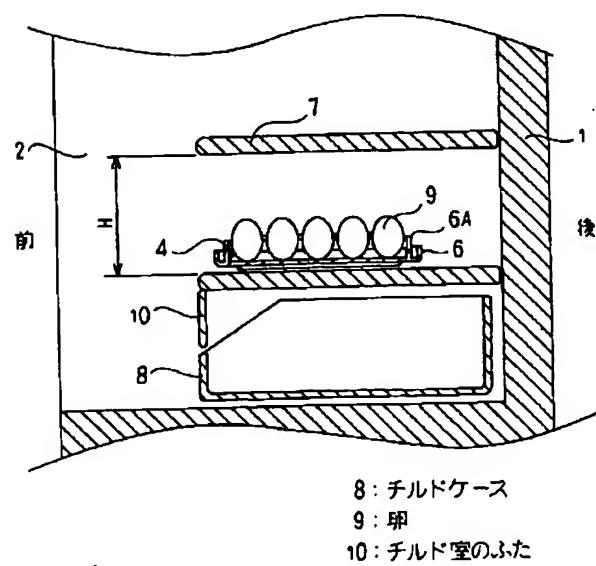
【図6】



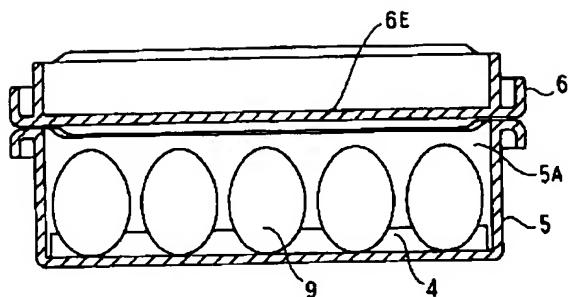
【図3】



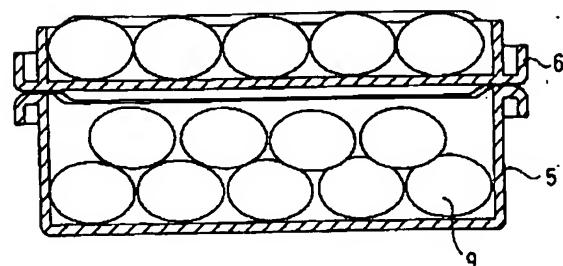
【図4】



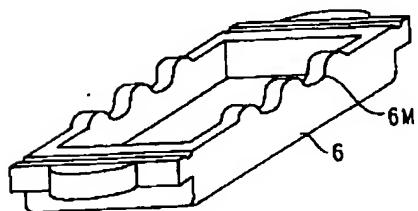
【図8】



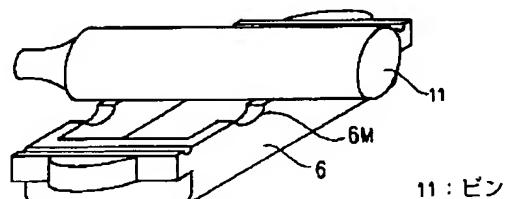
【図9】



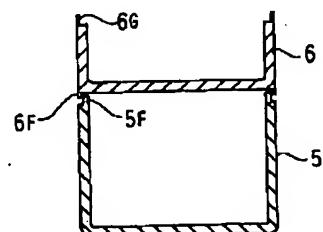
【図10】



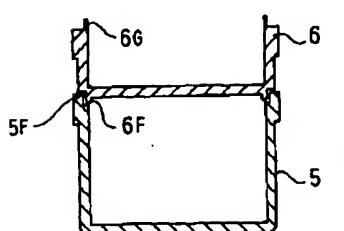
【図11】



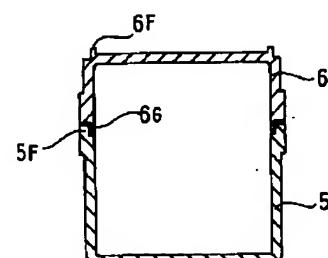
【図14】



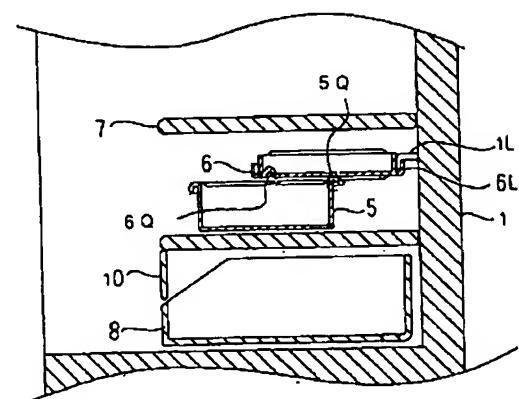
【図12】



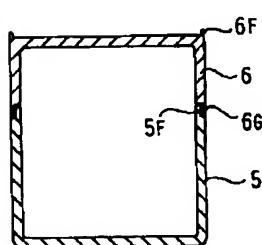
【図13】



【図19】



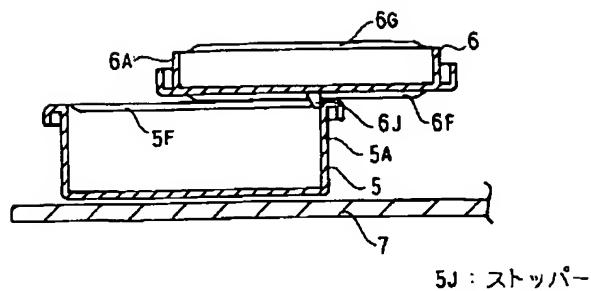
【図15】



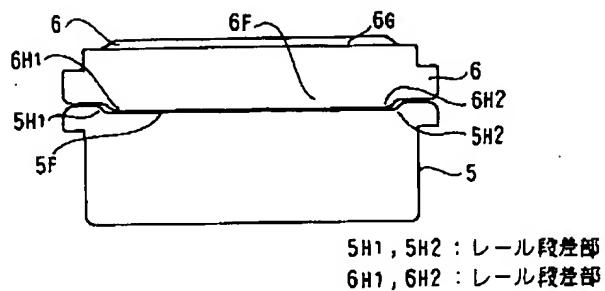
5F : レール
6F : レール(底部)
6G : レール(フランジ部)

1L : 鋸形状
6L : 鋸形状

【図16】

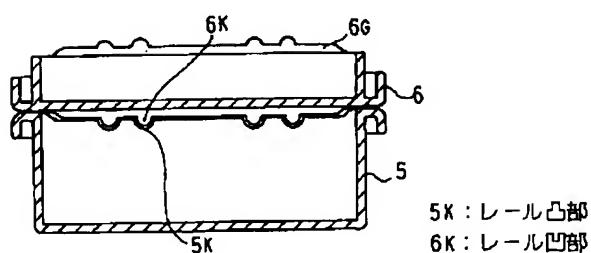


【図17】



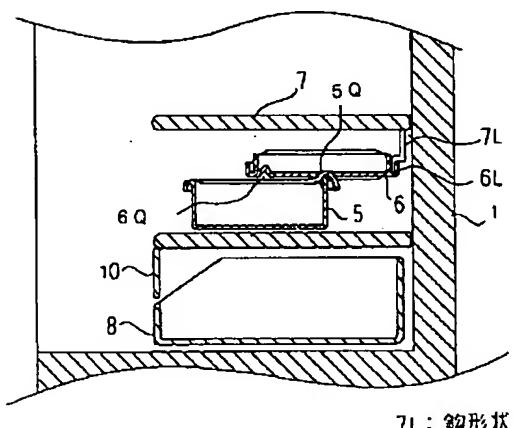
5H1, 5H2 : レール段差部
6H1, 6H2 : レール段差部

【図18】



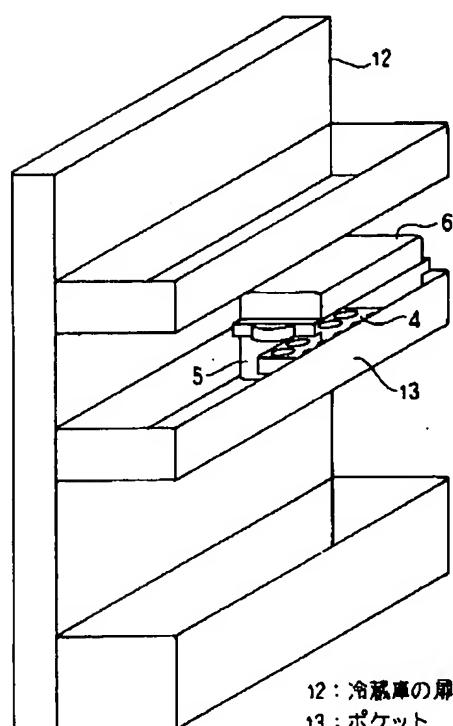
5K : レール凸部
6K : レール凹部

【図20】



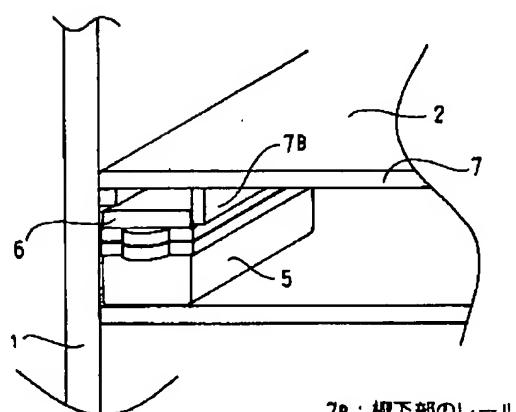
7L : 鋼形状

【図21】



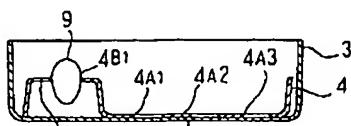
12 : 沖縄車の扉
13 : ポケット

【図22】

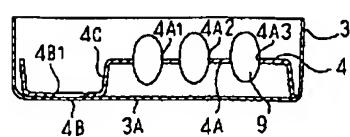


7B : 相下部のレール

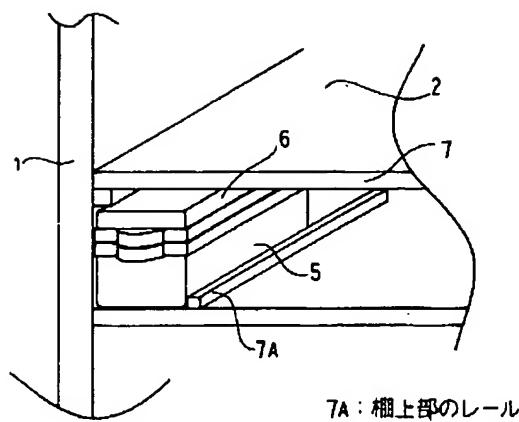
【図32】



【図31】

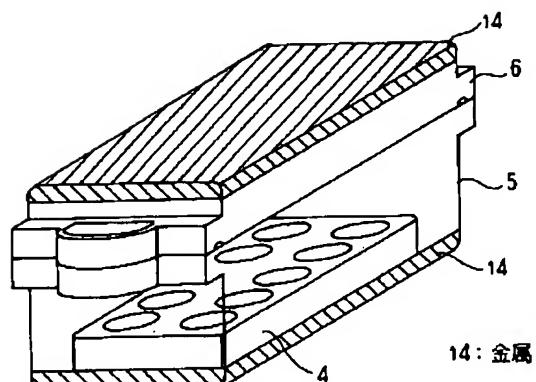


【図23】



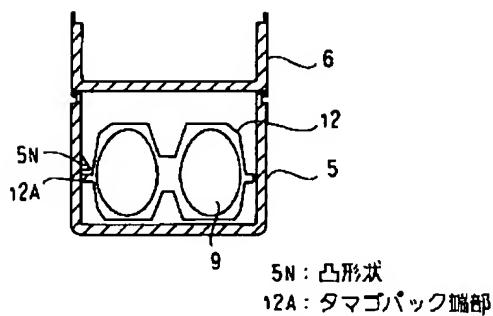
7A: 棚上部のレール

【図24】

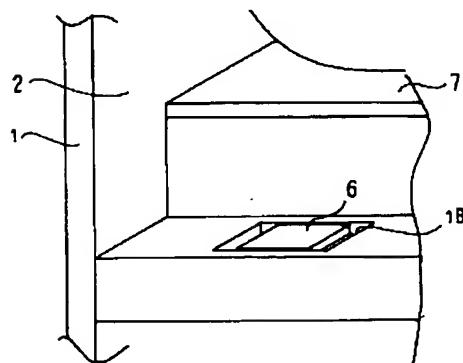


14: 金属

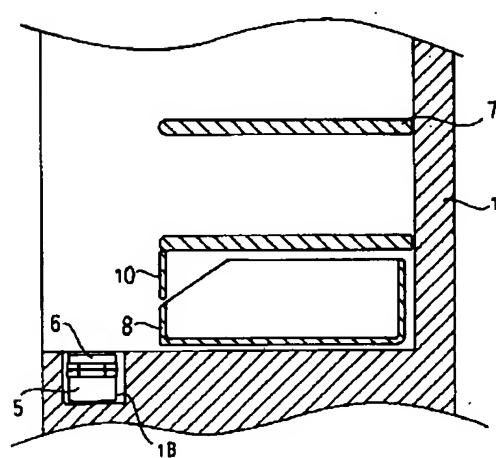
【図25】



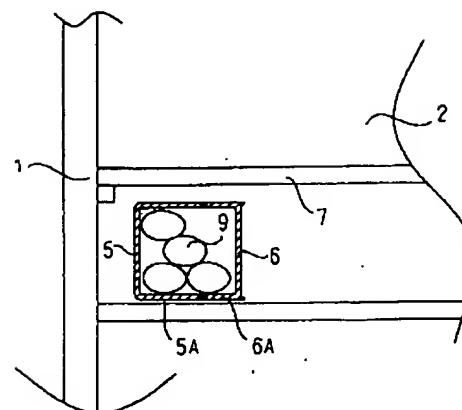
【図26】



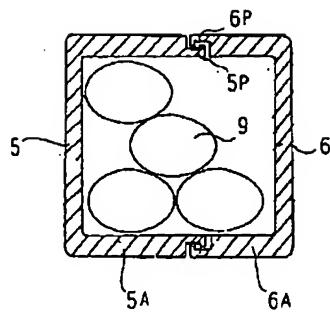
【図27】



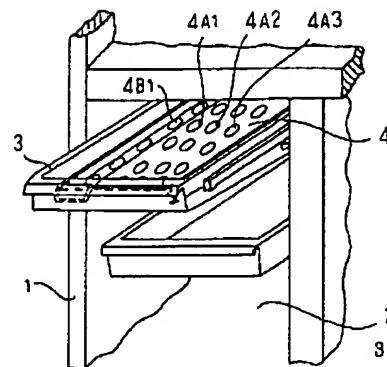
【図28】



【図29】



【図30】



3 : 小物容器

3A : 小物容器の底部

4A : 第1の卵載置板部

4B : 第2の卵載置板部

4C : 接続部

4A1, 4A2, 4A3, 4B1 : 卵収納孔列